石神中学校だより11号発行日: 令和4年 9月21日

2022重点目標「自ら学び,共に高め合いながら夢の実現のために努力する生徒」文責:校長 佐藤恭司

映画「二宮金次郎」を鑑賞しました

9月10日(土)に、南相馬市生涯学習センターにて、映画「二宮金次郎」を全校生徒、全職員で鑑賞しました。石神学区には、二宮尊徳(二宮金次郎)と弟子の富田高慶の墓や尊徳の子、尊行とその家族が住んでいた旧住宅跡があります。石神地区の方々にとっては、昔から二宮尊徳が身近にある地域の文化遺産なのです。今回、南相馬市教育委員会より、映画「二宮金次郎」の鑑賞教室の機会をいただき、実現することができました。映画終了後、映画監督の五十嵐匠さんから、生徒らに二宮金次郎映画撮影秘話やこれから映画関係を目指す人へ、そして将来に向けた生き方などのメッセージもいただきました。これまで、地域学習で学んできた報徳仕法の成り立ちや金次郎の生い立ちに触れる良い機会となりました。



<3年総合的な学習の時間:福祉体験学習>

9月8・9日(木・金)の二日間、3年生は、高齢者福祉施設(福寿園デイサービスセンター、グループホーム石神、デイサービスセンターしゃりん梅、健康福祉センター、特別養護老人ホーム福寿園)や児童福祉施設(北町保育所、原町聖愛こども園、あずま保育園、さくらい保育園、みなみ幼稚園)の体験学習受け入れのご協力をいただき、学校生活では得がたい将来の職業選択にも役立つ貴重な学びをしてきました。体験学習を終えた、生徒の声をご紹介します。

高齢者福祉施設○『お年寄りの方の人生経験豊かな話が聞けてとても良かった。』

- ○『ご飯やお茶をおばあちゃんに配ったら、笑顔で「ありがとう」と言われ、とても嬉しかった。』 ○『人のために役立つ仕事ができ、とても嬉しかった。』『車椅子の安全な扱い方は勉強になった。』 児童福祉施設○『泣いちゃう子がいて、どうしたらよいか悩んだ。でもみんなかわいかった。』 ○『幼稚園の先生は、次々とたくさんの仕事があって、とても大変だと実感した。「お姉さん先生」 とみんなが声をたくさんかけてくれて楽しく園児と触れ合うことができた。』(学年主任 鴫野)

高齢者福祉施設で体験学習する生徒



児童福祉施設で体験学習する生徒

<2年総合的な学習の時間:職場体験学習>

9月8・9日(木・金)の二日間、2年生は「職場体験学習」を行いました。この体験学習では実際に働くことを通して、仕事の意義や社会との関わりについて学び、今後の進路について考える機会を持つことを目的としています。生徒たちは体験の場を提供してくださった事業所の方々に感謝の気持ちを持ちながら積極的に活動し、仕事の大変さ・厳しさを肌で感じつつ、やりがいやおもしろさも実感していました。仕事について調べた文字だけの知識では得られない大切なことを学ぶことができ、体験を終えた生徒たちの成長を感じています。(学年主任:宮原)

【感想】レジのサポートでは、お客様を待たせないよう丁寧に急いで袋につめるのが大変だった。 【感想】金属加工の大変さを実感した。忙しい中、受け入れてくださったことに感謝している。







〈堀内自動車商会〉

<1年総合的な学習の時間:地域体験学習>

1年生の総合学習は、9月8日(木)、9日(金)の2日間、「地域体験学習」を行いました。8日(木)は、郷土の発展に尽くした先人の教え「報徳仕法」について学びました。NPO法人南相馬市サイエンスラボ理事長の齋藤実さんを講師に、二度の大飢饉から相馬地方を救った報徳仕法はどのようなものだったのか、劇をしながら楽しく学びました。9日(金)は、午前中、南相馬市博物館へ行き、自分の住む地域の歴史や自然などについて調べました。自分で選択した常設展を見学し、

学芸員の方に質問し、熱心に学習する姿が見られました。午後からは、福島ロボットテストフィールドへ行き、ロボットプログラミングを体験しました。いろいろな動きを組み合わせてプログラミングし、メカトロウィーゴという小型ロボットを動かす体験をしました。施設見学もさせていただき、ロボットの性能評価や操縦訓練ができる世界にも類を見ない施設が自分たちの住む南相馬市にあることを学ぶことができました。(学年主任:佐藤)





【ロボットプログラミング体験】



【南相馬市博物館見学】